

葉色診断で適切な追肥を！

8月は高温が予想されます。葉色が薄いほ場もあり、猛暑に備えて適切な後期栄養管理が必要です。

日照不足の影響でコシヒカリ出穂期は前回予想より若干遅れ、「平年より2～3日程度早い」予想です。ほ場によりバラつきがみられます。

1 7月20日現在のコシヒカリ生育状況（拠点9地点平均、移植日平均5月9日）

草丈（やや長） 茎数（並） 葉数（並） 葉色（並）

		本年値	目標比・差	前年比・差
草丈	(cm)	82	109%	94%
茎数	(本/m ²)	443	103%	96%
葉数	(葉)	12.2	+0.2	-0.5
葉色	SPAD	33.9	+0.9	+2.6
	葉色板	3.4	-0.2	+0.0

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 一発基肥の追肥（出穂期12～10日前）

ア 葉色が著しく低下している場合（葉色板 3.3 以下、SPAD値 30 以下）、追肥を施用する。

(2) 分施の穂肥（2回目：出穂期12～10日前）

ア 2回目穂肥は、幼穂、葉耳間長を確認し、適期に「必ず施用」する。

イ 3回目穂肥は、2回目を施用しても葉色低下が続く場合「出穂期3日前」までに施用。判断に迷う場合は JA や普及センターに相談する。

※ 詳しくは、佐渡米カレンダー（7月）を参照。

減減栽培では化学窒素分量の超過に注意。

3 その他の管理ポイント

(1) 斑点米対策のため、一斉草刈り期間（7/14～26）を遵守すること。

(2) 各地で葉いもちの発生がみられる。コシヒカリ等でも発生が見られる場合は穂いもち防除を検討する。

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう。